



環境社会報告書2016

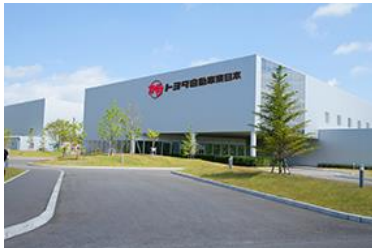
 トヨタ自動車東日本株式会社

会社概要



発足	2012年7月
本社所在地	宮城県黒川郡大衡村中央平1番地
資本金	68.5億円
従業員数	約7,500名(2016年4月1日現在)
事業内容	トヨタ車の企画・研究開発・生産

事業所



本社・宮城大衡工場
〒981-3609
宮城県黒川郡大衡村中央平1番地
TEL (022)765-6000 (大代表)



宮城大和工場
〒981-3408
宮城県黒川郡大和町松坂平5-1-1
TEL (022)345-6711 (大代表)



岩手工場
〒029-4503
岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山1
TEL (0197)41-1120 (大代表)



東富士総合センター
〒410-1198
静岡県裾野市御宿1501
TEL (055)996-2000 (大代表)



東富士工場
〒410-1195
静岡県裾野市御宿1200
TEL (055)997-1111 (大代表)



須山工場
〒410-1231
静岡県裾野市須山2810-1
TEL (055)965-1700

《海外拠点》

KANJIKO DO BRASIL
INDUSTRIA AUTOMOTIVA LTDA.
(ブラジル)



ソロカバ工場



サルト工場

ACSE
Auto CS Engineering Co.,Ltd.
(タイ)



生産車



シエンタ



カローラアクシオ
カローラアクシオハイブリッド



カローラフィールダー
カローラフィールダーハイブリッド



アクア



ポルテ



スペイド



アイシス



センチュリー



クラウンセダン



クラウンコンフォート



コンフォート

主な自動車部品



エンジン



トルクコンバーター



アクスル



電子制御
ブレーキ・システム

INDEX

会社プロフィール

会社概要・事業所・生産車・主な自動車部品 2

トップメッセージ

東北を基盤に世界一の魅力ある
コンパクトカーをお届けします …… 4

会社方針

目指す姿と会社方針 …… 5

トピックス

東北への思い …… 8

環境報告

環境への取組みの考え方 …… 10
第5次環境取組みプラン …… 11
2015年度活動実績 …… 12
第6次環境取組みプラン …… 13
開発・設計 …… 14
生産 …… 16
環境保全活動 …… 19
地域社会とのコミュニケーション活動 23
子会社の取組み …… 24

社会性報告

お客様との関わり …… 25
社会との関わり …… 27
従業員との関わり …… 32

本報告書は2015年度（2015年4月～2016年3月）における当社単独ベースの取組みを主体にまとめ、一部においては2016年度を含みます。

また、本報告書では活動のポイントを紹介しておりますので、更に詳しく知りたい方は、本文中の[詳しくはこちら](#)をクリックいただき関連情報をご覧ください。



表紙の写真

・奥入瀬渓流：青森県十和田市



取締役社長

白根 武史

東北を基盤に 世界一の魅力ある コンパクトカーをお届けします

はじめに

トヨタ自動車東日本は、関東自動車工業・セントラル自動車・トヨタ自動車東北の3社が統合し2012年7月にコンパクト車の専門集団として誕生いたしました。私たちは、目指す姿である『東北を基盤に 世界一の競争力を持つ 魅力あるコンパクト車をつくる』の実現に向けて、グローバルな視点で「魅力あるコンパクト車の企画提案力を強化」するとともに、東北の地に根付き地域の皆様と連携・切磋琢磨した「ものづくりの改革を通じて競争力を強化」してまいりました。一方、本年4月18日より施行されたトヨタ自動車(株)のカンパニー制に伴い当社は、Toyota Compact Car Companyの母体となりました。これにより活動のフィールドを海外に広げるとともに、目指す姿の実現に向けた取組みを一層加速させて、いつの時代も一歩先を行くクルマづくり&ものづくりで世界をリードしていきたいと考えております。

人と地球環境に優しいクルマづくり&ものづくり

昨年12月、フランスで開催されたCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）にて、2020年以降の地球温暖化対策の法的枠組み「パリ協定」を採択し、地球温暖化防止に向けた取組みが前進しました。

当社は自動車産業に関わる企業として、地域社会から信頼されるための法令遵守の徹底と地球温暖化防止のための、温室効果ガスの大幅低減をはじめとする環境問題への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置付けております。この課題解決に向けて、2015年度を最終年度とした「第5次環境取組みプラン」を策定し、「低炭素社会」「循環型社会」「環境保全と自然共生社会」の構築に向けて全社を挙げて取組み、全ての項目で目標を達成することができました。

具体的な取組みとしては、世界トップレベルの燃費性能を持つ「アクア」をはじめ、「シエンタ」等の製品開発を通じた先進的な環境性能を持つコンパクト車シリーズのクルマづくりと、ものづくりではCO₂低減を最重点項目に掲げ、徹底した省エネ活動と地域の特徴を活かした自然エネルギーの利用等、人と地球環境に優しい取組みを推進しております。

また、トヨタ自動車(株)が昨年10月に発表した「トヨタ環境チャレンジ2050」の6つのチャレンジの実現に向け、トヨタグループの一員として貢献すべく、2016年度～2020年度の5カ年を対象とした「第6次環境取組みプラン」を策定し展開するとともに、20年先、30年先を見据えた新たな取組みに着手してまいります。

この報告書により、当社の取組み姿勢や活動内容をご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお待ちしております。

今後もお客様、社会・環境との調和を図りながら、一層の努力を続けてまいります。

皆様のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2016年6月